

## 交換機種のご案内

施設規模に合わせて交換機種をお選びいただけます。



### FS-A2500 シリーズ FS-2500 シリーズ

最大局数 [500局] 最大回線数 [640回線]  
音声警報・4カ国語対応・ラック型非常用放送設備

大幅なサイズダウン **業界最小**

音声警報メッセージに  
4カ国語(日・英・中・韓)が標準で  
搭載された認定評価品 **業界初**

非常放送に優先して  
緊急地震放送\*が可能

停電時の業務放送にも対応可

\*平成21年9月30日公布「消防法施行規則等の一部を改正する省令(平成21年総務省令第93号)および、「非常警報設備の基準の一部を改正する件」(平成21年消防庁告示第22号)を満たす非常用放送設備の基準を規定した、社団法人 電子情報技術産業協会発行の「緊急地震速報に対応した非常用放送設備に関するガイドライン」に準じた緊急地震速報による放送。

### FS-1000 シリーズ

緊急地震放送の法制化に対応した壁掛型  
音声警報・4カ国語対応・壁掛型非常用放送設備

- 10局・90W FS10-910
- 20局・90W FS10-920
- 30局・90W FS10-930
- 10局・180W FS10-1810
- 20局・180W FS10-1820
- 30局・180W FS10-1830
- 10局・270W FS10-2710
- 20局・270W FS10-2720
- 30局・270W FS10-2730
- 10局・400W FS10-4010
- 20局・400W FS10-4020
- 30局・400W FS10-4030

- (業務用電源ユニット付タイプ)
- 10局・90W FS10-910G
  - 20局・90W FS10-920G
  - 30局・90W FS10-930G
  - 10局・180W FS10-1810G
  - 20局・180W FS10-1820G
  - 30局・180W FS10-1830G



FS10-4030G

- 10局・270W FS10-2710G
- 20局・270W FS10-2720G
- 30局・270W FS10-2730G
- 10局・400W FS10-4010G
- 20局・400W FS10-4020G
- 30局・400W FS10-4030G

### リース、クレジット<sup>分割</sup>もご検討いただけます。

ご予算の都合等で、リースもしくは分割払いで非常用放送設備を入れたい場合も、ご遠慮なく弊社取扱店にご相談ください。

### カタログのご案内

FS-A2500シリーズ、FS-2500シリーズ、FS-1000シリーズの特長、システム構成例、仕様などは機器カタログでもご紹介しています。



FS-A2500シリーズ



FS-2500シリーズ



FS-1000シリーズ



### 安全に関するご注意

- ご使用前に「安全上のご注意」および「取扱説明書」をよくお読みの上、正しくお使いください。●製品は本来の用途以外には使用しないでください。
- 取付・接続に電気工事等が必要な場合は、お買い上げの販売店または専門業者にご相談ください。●製品を天井等に取り付ける際は、十分に耐えられる強度のある場所に取り付けてください。
- 日本国内専用機のため、海外ではご使用になれませんのでご注意ください。●製品の色は印刷のため実物とは多少異なる場合があります。●犯罪抑止や事故防止等を意図して設計・製造しておりますが、本システム単独で、犯罪の防止や安全を保障するものではありません。万一、事件・事故等による被害・損害が生じた場合でも、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。●製品価格には、設置調整費用、電気工事費用、使用済み商品の引取り費用等は含まれておりません。●改良のため予告なく仕様・価格等を変更する場合があります。
- 長く安心してお使いいただくため、定期的な保守点検をお勧めします。●非常放送設備は消防法により所定の保守点検が義務付けられています。
- 保守点検については、お買い上げの販売店へご相談ください。

### 商品価格・在庫・修理に関するお問い合わせ

札幌 (011)633-5535	多摩 (042)523-8405	大塚カヌー (06)6260-1525	インフラ営業部
青森 (017)723-3751	東京 (03)5621-5761	横ヶが懸 (06)6260-1521	東京 (03)5621-5791
仙台 (022)256-8100	東京カヌー (03)5621-5782	京都 (075)212-4100	大阪 (06)6260-1528
盛岡 (019)636-4231	新潟カヌー (03)5621-5765	神戸 (078)303-5625	スマートビジュアル営業部
郡山 (024)923-7744	びんがが懸 (03)5621-5790	高松 (087)826-5501	東日本ユニット
新潟 (025)246-2316	横浜 (045)444-3422	岡山 (086)803-2226	東京第1 (03)5621-5801
長野 (026)234-2231	静岡 (054)251-5350	広島 (082)291-3988	東京第2 (03)5621-5801
水戸 (029)231-9811	金沢 (076)244-1951	福岡 (092)431-0061	西日本ユニット
宇都宮 (028)633-9661	岐阜 (058)265-5656	熊本 (096)352-0883	名古屋 (052)509-7852
さいたま (048)614-8860	名古屋 (052)509-7851	鹿児島 (099)256-5245	大阪 (06)6260-1535
千葉 (043)382-6511	大阪 (06)6260-1526	那覇 (098)866-5598	

### 技術的なお問い合わせ

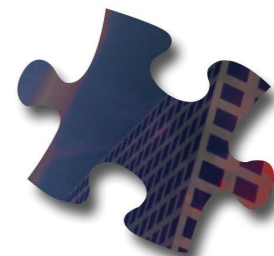
**お客様相談センター** 固定電話 ☎ **0120-108-117**  
 受付 9:00~17:00 携帯 ☎ 0570-064-475 (有料) IP電話はご利用  
 (土日、祝日除く) F A X ☎ 0570-017-108 (有料) いただけません  
 個人情報の取扱方針は、弊社ホームページをご覧ください。(https://www.toa.co.jp/privacy.htm)



~メンテナンスサポートガイド~

# 非常用放送設備を「安心・安全」にお使いいただくために

万が一の時に大切な「いのち」を守る非常用放送設備。  
 安心のため、安全のため、設備の維持・管理のご検討に  
 どうぞお役立て下さい。



**ISO**

TOAは国際規格である品質保証の「ISO9001」、  
 環境の「ISO14001」の認証登録企業です。

# 火災時、地震時……など、もしもの時に非常放送が行えないことがないように 安心・安全のために、長い間ご使用されている非常用放送設備の更新計画のご検討をおすすめします。

当社の非常用放送設備は、ご購入後も10年間は補修用部品を供給できるように努めております。  
しかしながら、既に部品メーカーが部品の生産・供給を完了している場合も多く、一部商品では補修用部品の入手が極めて困難となっております。  
より安全で信頼性の高い施設環境づくりのために、ご購入時期をご確認いただき、10年を迎える機種をお使いの場合は更新のご検討をお願いします。  
また、消防法で義務付けられております定期点検も、実施いただけますようお願いいたします。

性能修理期間はご購入から**10年**です

## メンテナンスできない TOA 製非常用放送設備

型式	FS-391	FS-392・FS-393・FS-394	FS-751	FS-761/D・FS-762	FS-781	FS-801	FS-811・FS-812	FS-831
形状	ラック型	ラック型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型
自火報連動	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉	一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉
パワーアンプ(W)	60, 100~400	60, 100~400	30, 60, 120	30, 60, 100, 120~720	60	30, 60, 120, 180	30, 60, 120~960	30, 60, 120, 240
非常操作部	EP-011, SS-039	SS-031	—	EP-027	—	—	EP-027	—
非常電源部	DS-021 DS-022 DS-032	DS-021 DS-022 DS-032	本体下部に内蔵	DS-027	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-027	本体下部に内蔵
ニカド蓄電池	—	—	30W NDC-2412 60W NDC-2416 120W NDC-2435	NDC-2435 NDC-2460	60W NDC-2416	30W NDC-2412 60W NDC-2416 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460
販売開始時期	1970年	1973年	1975年	1976年	1979年	1980年	1981年	1984年2月
生産中止時期	1979年	1977年	1982年6月	1987年2月	1987年3月	1984年5月	1987年2月	1994年11月
遠隔操作器型式	RM-231	RM-231	RM-751	RM-761・RM-762	—	RM-801	RM-811・RM-812	RM-831
生産中止時期	1977年12月	1977年12月	1982年4月	1982年2月	—	1984年6月	1987年2月	1994年11月

FS-841	FS-861・FS-862	FS-872	FS-891	FS-931・FS-932	FS-941	FS-961	FS-971	FS-981	FS-991
壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型	ラック型	壁掛型	壁掛型
一斉	個別十一斉	一斉	一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉	個別十一斉
30, 60, 120, 240	30, 60, 120, 240, 360	30, 60, 120, 240	30, 60, 120, 240	30, 60, 120, 240, 360	60, 120, 240	60, 120, 240	60, 120, 240, 360, 480	360	60, 120, 240, 360
—	EP-058	—	—	EP-059	—	—	EP-0510	—	—
本体下部に内蔵	DS-028	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-029	本体下部に内蔵	本体下部に内蔵	DS-029	本体下部に内蔵	本体に内蔵
30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	30W NDC-2412 60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	60W NDC-2418 120W NDC-2435 240W NDC-2460	NDC-2435 NDC-2460	NDC-2460	NDC-2418 NDC-2435 NDC-2460
1984年4月	1986年8月	1987年7月	1989年10月	1993年11月	1994年4月	1997年2月	1997年5月	1997年12月	1999年8月
1994年11月	1994年9月	1989年9月	2004年5月	1997年3月	1997年1月	1999年7月	2019年7月	1999年5月	2017年4月
—	RM-861~864	—	RM-891	RM-931~935	RM-941	RM-941	RM-971・RM-975・ RM-976	RM-941	RM-991
—	1994年3月	—	2003年8月	2002年10月	1999年8月	1999年8月	2019年7月	1999年8月	2017年4月



## 機種交換3つのメリット

### 1 音声警報対応

現行型機種は平成6年の消防法改正で義務化された音声警報に対応しています。

#### 音声警報のパターン

① 感知器発報放送	② 火災放送	③ 非火災報放送
(女声)「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。確認しておりますので、次の放送にご注意ください」	(男声)「火事です、火事です、〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください」	(女声)「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください」

「音声」による警報で、的確な情報を提供し、避難者をスムーズに誘導することができます。

### 2 4カ国語が搭載された認定評価品

平成30年3月に消防庁から発出された『消防庁第255号「放送設備の設置に係る技術上の基準の運用について」の一部改訂について』に対応した認定評価品で、音声警報メッセージに4カ国語(日、英、中、韓)が標準で搭載されています。

### 3 緊急地震速報への活用

「緊急地震速報受信装置」からの地震速報(2007年10月1日から一般提供開始)を放送設備で拡声して、危険回避行動を促すことができます。地震の際にも、火災の際にも役立つ放送設備が、いざという時に利用できないといったことがないように、メンテナンスをお願いします。メンテナンスできない機種をご使用の場合は、更新計画のご検討をおすすめします。

なお、「緊急地震速報受信装置」につきましても、ご相談に応じられます。合わせて、ご検討ください。

※緊急地震速報の詳細はコチラをご覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eww/data/nc/index.html>

**緊急地震速報とは?**  
緊急地震速報は、P波(初期微動)とS波(主要動:大きな揺れ)の到達時間差を利用し、P波の観測からいち早く大きな揺れが来ることをお知らせする情報です。

### バッテリー交換もご検討ください

バッテリーは消耗品です。業務放送時はAC電源で駆動しているため問題がなくても、火災等の非常時に、停電で非常放送が行えないことがないように、予防保全の観点からバッテリーは、3年を目途に交換のご検討をおすすめします。

耐用年数は約4年!!